

# 令和6年度 事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

尾道市社会福祉協議会

# 目 次

## 1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催	2
(2) 役員・評議員・監事研修会	4
(3) 福祉基金の運用	4
(4) ボランティア基金の運用	5
(5) 金山基金の運用	5
(6) 社協会員の加入促進	6
(7) 寄付金の受付	6

## 2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業	7
(2) ふれあいサロン事業	12
(3) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	18
(4) 法人後見事業	20
(5) 認知症高齢者見守り事業	21
(6) 認知症サポーター養成事業	23
(7) 認知症カフェ推進事業	28
(8) 尾道市チームオレンジ整備事業	32
(9) 住民参加型ふれあいサービス事業	35
(10) 介護器具等の貸し出し事業	36
(11) 福祉総合相談事業	36
(12) 生活困窮者自立支援事業	37
(13) 生活福祉資金貸付事業	42
(14) コロナ特例貸付フォローアップ支援事業	42
(15) 生活支援体制整備事業	44
(16) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催	46
(17) 広報啓発活動	48
(18) 民生委員児童委員協議会との連携	48
(19) 福祉まるごと相談窓口事業	48
(20) 尾道市ひきこもり支援ステーション事業	53
(21) まちかどフードパントリー事業	55

## 3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業	57
(2) 大学、専門学校等ソーシャルワーク実習生等の受け入れ	58
(3) 日本赤十字社講習会	59

## (21) まちかどフードパントリー事業

尾道市内に居住する、児童扶養手当や就学援助を受給している子育て世帯や、困窮世帯が身近な場所で安心して食品を受け取ることができ、食に困る状況を回避するとともに、食品等を地域企業や個人から提供いただくことで、フードロス対策につながる形で運用した。

食品を提供いただける個人・地域企業等を「フードパートナー」、フードパントリーを利用される方を「フードメイト」とし、支援する・されるの垣根をなくし、対等な立場で食品ロス対策や食の支援を行い、お互いに支えあう取り組みとなることを目指した。

フードメイトが安心・安全に利用できる場所となるよう、フードパントリー入り口には、フードメイトのみが開錠できる電子ロックを使用し、寄付物品はオンラインデータにて管理している。

フードメイトから提供いただいた物品については、フードバンク事業や子どもの居場所づくりネットワーク事業と連携し、より必要な世帯や団体等へ物品の提供ができるよう取り組んだ。

### ●開設拠点

開設日	開設地区	開設場所	利用開所日
令和6年10月31日	西部	総合福祉センター内	平日及び土日
令和7年3月11日	因島	はっさく交流館敷地内	平日のみ
令和7年3月31日	向島	向島ふれあい館敷地内	平日のみ

### ●フードメイト登録者数（地区別/申込別）

登録者数 153名（内訳：就学援助 62名・児童扶養手当 87名・その他 4名）

※その他：くらしサポートセンター尾道にて継続的相談支援を行っている世帯。

エリア	中央	北部	向島	因島	東部	瀬戸田	西部	合計
就学援助	12	12	8	6	8	2	14	62
児童扶養手当	11	16	17	8	11	1	23	87
その他	1	0	0	0	3	0	0	4
合計	24	28	25	14	22	3	37	153

### ●フードメイト利用状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	4	66	80	89	91	100	430
延べ利用人数	9	203	278	333	364	452	1639

### ●フードパートナー登録数

個人	企業	計
13	26	39

### ●寄付物品実績：寄付物品重量にて表記

	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (kg)
寄付物品実績	65	524.07	886.56	667	654.9	2,797.53

### ●開設記念講演会

開催日時：令和7年2月2日（日）13：30～15：30

会 場：尾道市総合福祉センター4階大会議室

参加者数：70名

内 容：まちかどフードパントリー尾道 概要説明

専用アプリのデモンストレーション

基調講演「～こどもの貧困と食の支援を通じたつながりづくり～」

講師：認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ

理事長 湯浅 誠さん

#### 【成果】

- ・無人の常設型フードパントリーを開設し、専用アプリで物品管理を行うシステムを構築することで、フードメイトは、開設時間内であれば人目を気にせず、必要な食料を受け取ることができるようになった。フードメイトから、メッセージボードへ「もらったイチゴをデザートにします」「いつも助かっています」などの感謝メッセージが届いている。
- ・パントリー内に冷凍庫・冷蔵庫を設置することで、従来の食糧支援では、取り扱うことができなかった生鮮食品や加工食品、冷凍食品等も受取可能となった。
- ・登録者の中には、フードメイト兼フードパートナーという方もおり、支援する・されるの垣根がない一面が見られた。今後も、互いに支え合える地域づくりの一つとして取り組んでいく。

#### 【課題】

- ・今後もフードメイト登録者、利用者件数ともに増加が見込まれるなか、フードパートナー登録の増加につながるよう個人・地域企業・団体への周知や訪問等の活動と工夫が必要である。
- ・提供いただいた食料等を受け取るだけでなく、フードメイト同士のつながりや、他事業と協働した活動展開なども意識して取り組む必要がある。